

考えよう 防災のこ と



【問合せ先】地域安全課消防防災係
(☎ 28-9510)

大雨・土砂災害から身を守る

台風やゲリラ豪雨によって同じ場所で雨が降り続けると、浸水や土砂災害が起こりやすくなります。土砂災害を発生させる現象には、主に「がけ崩れ」「地すべり」「土石流」があり、これらが発生するときには、何らかの前兆現象が現れることがあります。こうした前兆現象に気付いたら、周囲の人と声を掛け合い、いち早く安全な場所に避難することが大切です。



土砂災害の種類と主な前兆現象

1 がけ崩れ

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震などで緩み、突然崩れ落ちる現象。崩れ落ちるまでの時間がごく短いため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことが多い。

【主な前兆現象】

- ▼がけにひび割れができる
- ▼小石がパラパラと落ちてくる
- ▼がけから水が湧き出る
- ▼湧水が止まる・濁る
- ▼地鳴りがする

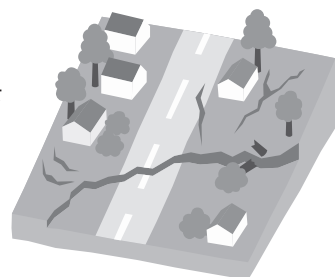


2 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。土の塊の移動量が大きいため、甚大な被害が発生する。

【主な前兆現象】

- ▼地面がひび割れ・陥没する
- ▼がけや斜面から水が噴き出す
- ▼井戸や沢の水が濁る
- ▼地鳴り・山鳴りがする



3 土石流

山腹や川底の石、土砂が^{ながあめ}長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。時速20~40kmという速度で、一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまうこともある。

【主な前兆現象】

- ▼山鳴りがする
- ▼急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- ▼腐った土の匂いがする
- ▼降雨が続くのに川の水位が下がる



土砂災害から身を守るために、いち早く気象情報を入手しましょう!

浸水や土砂災害発生の危険が高まるときには、「洪水警報」や「大雨警報(土砂災害)」などが発表されます。新発田あんしんメールに登録するとともに、テレビ、ラジオ、インターネットなどで情報を確認しましょう。



新発田あんしんメールの登録はこちらから

